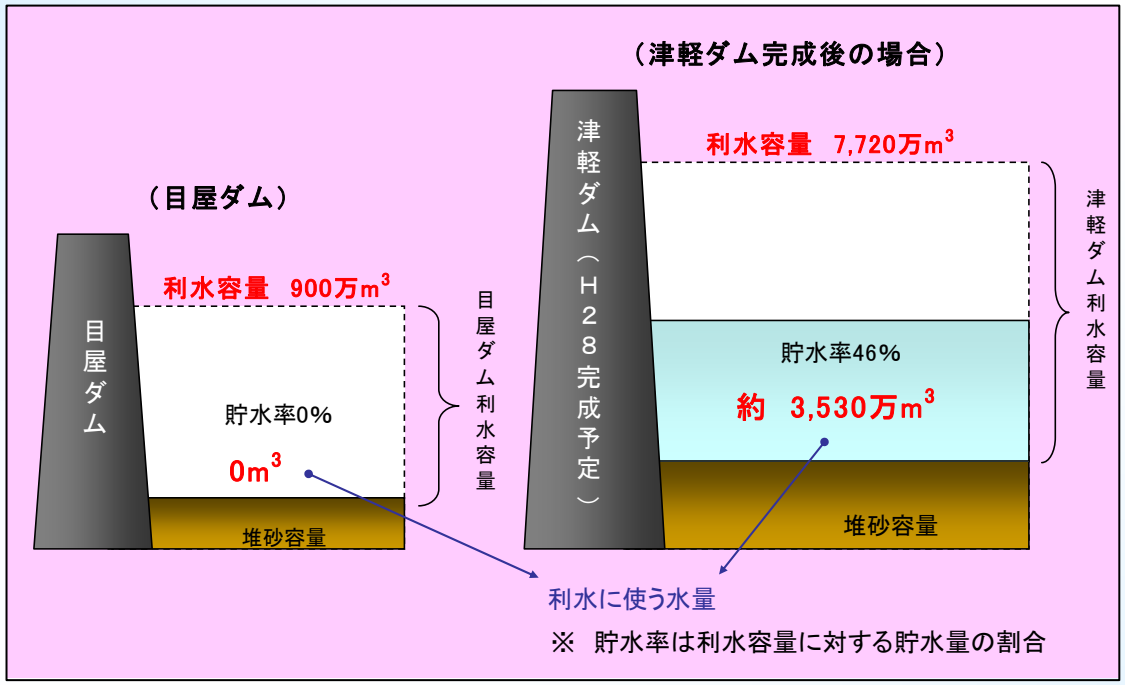
津軽ダムができると・・・渇水への効果

平成23年渇水における津軽ダムの効果（試算）

目屋ダムの貯水量が0%を記録した平成23年8月10日時点において、津軽ダム完成後の貯水量を試算すると、計画利水容量7，720万m3に対して、約3，530万m3（貯水率約46%)の容量が確保され、今回と同規模の渇水が発生しても**安定的な供給が可能**であると考えられます。

平成23年8月10日時点の貯水量



（参考）平成19年8月渇水の場合

